

令和2年第11回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和2年12月15日（火曜日） 午後1時50分から3時48分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・井上三枝・新堀陽子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 大野仁・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 荻野毅・学校教育課長 志村憲一・学校教育課副参事 利根川典正・生涯学習課長 小鹿野高光・図書館長 小林克己
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・配布資料一覧

議題及び決定事項等

議案なし

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 県立高校入試の特例追検査について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け学力検査、追検査を受けられなかった人を対象ということであるが、今までの2次募集のような日程になるのか。

(学校教育課副参事) 今までの2次募集、欠員補充については、今年度は3月17日から行う予定となっている。その前段階で行う追加の特例措置である。

(委員) 受験の権利は確保されているが、5科目ではなく3科目での検査という実施方法に公平性の観点から疑問を感じる。受験のために医師の診断書が必要なのかどうかは不明だが、意図的に3科目で受験ができてしまっは問題がある。な

ぜ、3科目にしたのか確認してもらいたい。

(学校教育課副参事) 県に確認する。

(委員) 成人式について、開催するかしないかの判断をいつまでにどうするかといったロードマップが必要である。

(生涯学習課長) 12月21日まで感染状況や国などの動きを見て判断したい。

(委員) 北海道の医師会長が医療緊急事態宣言という言葉を使っており、現実には医療体制はひっ迫してきている。開催してもしなくても主催する自治体はマイナスを覚悟するとともに、両者のネガティブを考えてその判断をしなければならない。新成人たちの美容、晴れ着の準備もあるので、早く判断したほうが良い。

(教育長) 式を開催しないならしないで、ライブまたは録画で式典の配信を行うなどといった代替案をいくつか検討している。

(委員) 現時点の式典の実施形式はどのように行う考えか。

(生涯学習課長) 来賓、保護者の出席はなくし、座席の間隔をあけるなどして密集状態にならないように考えている。

(委員) ソーシャルディスタンスだけを守れば良いという話ではない。大きなホールで、行政主催で人を集めてクラスターが発生したら社会問題になる。12月21日の判断では遅いのではないか。

(生涯学習課長) 式典中止の可能性のアナウンスはすでに行っている。

(委員) 世論的感覚が縮小ムードになっている。仮に中止としても理解は得られるのではないか。

(生涯学習課長) 新成人の心情を考慮すればなるべく開催してあげたい。

(委員) 気持ちはわかるが、感染症の拡大を考えたら、そのような感情論は良くない。今年はお正月の帰省は少なくなると考えられる。成人式が無くなると、年末年始の残りのセレモニーはクリスマスしかなくなる。クリスマス前に判断をしてあげたほうが良いのではないか。

(生涯学習課長) 本日の会議で中止の方向のご意見をいただいたので、検討するうえで判断材料としたい。

(委員) 職業柄、感染するリスクが高めとなる。そのうえで教育委員として式典に出席して拡散の可能性を考えると、出席には後ろ向きである。

(教育長) 開催しないとすれば代替案を詰めていかなければならない。

(委員) 気持ちの緩みが感染拡大につながる。

(委員) 市民プールの改修について、更衣室は新型コロナウイルスを考慮したものとなっているのか。

(生涯学習課長) 既存の建物を改修するだけのため考慮はしていない。

(委員) 令和4年に完成予定とあるので、現在のワクチンに効果があれば、おそらく日常の生活の9割くらいは戻っているはずで。換気機能を充実させるなどのコロナ対策も考慮することが好ましい。

(委員) 図書館について、いろいろなアイデアを出して、いろいろな新刊を入れることはどこの図書館でも行っている。世の中のトレンドを把握し、工夫をこらした企画展示を行ってほしい。一つのテーマを広く掘り下げ展示するのもおもしろい。

(図書館長) 現在、来年度の事業計画の検討を進めている。いただいたご意見を参考に進めていく。

(委員) 考え方の裾野を広げて、対象者も増やしていくようにしてほしい。

(委員) 県内の中学校で新型コロナウイルス感染症の感染クラスターが発生した。学校としての組織体制がしっかりと機能していたのか今一度検証する必要があると感じる。

(教育長) 管理職の危機管理体制が問われるところである。

(委員) どこの学校でも起こりうることである。スムーズな人間関係が構築できていない組織にこのようなことが起こることが多い。

(委員) 教職員の不祥事根絶のための臨時教育長会議において、県が「若い教員の学生気分が抜けていない」などの話をしているが、こういう発言はいかがなものかと思う。「今の若者は」は言うてはいけないことである。

(教育長) 感覚や経験、精神論ではなく、事例等をよく分析し対処することが大切である。

(委員) コロナ禍でもそうだが、若者が悪者扱いされている風潮があるが、よくないことである。根底にこういう考えがあってはだめである。不祥事根絶に過敏になりすぎ監視を強めるなどしていくとハラスメントにもつながるおそれがある。足元のすくいあいが始まるなど、職場がぎくしゃくしてしまう。

(委員) 校長との人事ヒアリングにおいて、どういったことが挙げられているか。

(学校教育課長) 中堅世代の教員不足や男女のバランスへの配慮、また、それぞれの学校に応じた個別の課題などが挙げられた。

(教育部参事) 各学校加配(人員増)の要望もあった。

(委員) 中学校の教員の欠員が多いようであるがその点についてはいかがか。

(学校教育課長) 中学校に関しては、特別支援学級の増などもあり、学級数が増え欠員が生じているところである。

(委員) 成人式について、着物のレンタルの都合などいろいろな意味で早めの判断がよい。イベントを全て中止にしてしまうと、新成人の思い出も作れなくなってしまう。例えば、2部制や学校毎なども検討してみてもいかがか。

(委員) 着物レンタルのキャンセル料は一般的には何日前からかかるのか、それによっても早めの判断が必要ではないか。

(生涯学習課長) 式典が中止で、着物を着なくなるかは不明だが、情報収集にも努めて検討していきたい。

(教育長) 式典は動画配信で見てもらい、中学校を開放して出身校で同級生に会ってもらおう方法もある。いろいろな方法を検討したい。

(委員+) 新成人の一番の楽しみは同級生に会うことだと思うので、各学校を開放することは良いことである。

(委員) 中学校の部活動中での新型コロナウイルスの感染拡大を懸念している。感染が拡大する状況下で、練習試合の遠征も見受けられる。子どもや先生たちの「慣れ」が見受けられる。

(教育長) 原点に立ち返って、しっかりと対策を講じていきたい。

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○令和3年1月定例会：1月29日(金曜日)午後1時40分から 委員了承

○2月定例会：2月26日(金曜日)午後1時40分から 委員了承